

令和8年度 第2回 芳川北小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年7月29日（水） 9 時 00 分から 11 時 00 分まで
- 2 開催場所 芳川北小学校 会議室・ほっとルーム
- 3 出席委員 河島 茂男、村松 真弓、栗田 美香、本康 優子、永田 三津子、高橋 由典
- 4 欠席委員 金山 康乃、鈴木 俊徳、青木 律子
- 5 オブザーバー 袴田 唯之（南陽協働センター）
- 6 学 校 高木 宏康（校長）仲山 麻由（教務主任）宮本 朋典（CS 担当）
1 年担任：嶋野 和美、高木 遥平 2 年担任：川原 怜、勝永 操、小嶋 英里圭
3 年担任：宮本 朋典、高林 幸輝、池内 桃恵 4 年担任：後藤 敦子、東原 弘貴
浜田 裕梨 5 年担任：杉浦 秀祐、寺田 望、井上 才熙 6 年担任：安藤 麻美、
藤田 旭、中村 理絵 なかよし担任：松本 茅世、加藤 友里、廣瀬 りな
佐藤 富子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 磯部 志保（学校・地域連携課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 佐藤 富子
- 10 議長の選出
栗田委員が議長に立候補し、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
 - (1) 学年経営構想及び1 学期の実践の成果と課題の発表
 - (2) 1 学期末アンケート結果報告
- 12 会議報告
各学年から学年経営構想及び1 学期の実践の成果と課題の発表があった。続いて、1 学期末アンケート結果報告について、議長の指示により教務主任から別紙資料に基づき説明があり、委員から以下の発言があった。
 - ・プラスタイムやサキドリタイムはどのように過ごしているのか？ （本康委員）
 - ・プラスタイムは一週間に何をするのか決められているのか？ （永田委員）
 - ・サキドリタイムは一週間の振り返りや次の目標を考える、プラスタイムはクラスによって毎日違うことをやっている。家庭科の準備の時間として使うこともある。 （教務主任）
 - ・40分授業になって集中力は続いている。中学になると50分授業になるが、子供達が対応出来るのか？特に6年生が心配。 （高橋委員）
 - ・1、2年生は40分で良いと思うが、5、6年は45分にした方が良いのでは。子供達の集中力が続かないといって、そちらに合わせるのはどうなのか？大人になるにつれ長い時間でも集中できる。カもつけていけないといけない。 （河島委員）
 - ・授業デザインを工夫し、プラスタイムやサキドリタイムの活動に何をするのか明確にしてデザインする努力が大切。単元毎のデザイン等も先生方も勉強してこれから活かしていきたい。 （校長）

- アンケートに子供達から「疲れた」と多くの回答があったが、それだけ40分授業に集中出来ていた証拠なのではないか。40分授業は子供に合っているのかもしれない。（高橋委員）
- 午後2時間授業の頃より今の方が子供達は早く帰宅でき、放課後の時間が充実している。午後の授業が1時間だけなので子供達も頑張れると思う。体育や音楽の授業では、子供達が自分で考えた目標をタブレットに入力し、実技に臨み、振り返りもタブレットに入力していた。計画的に授業に取り組んでいるのが良いと思った。（栗田委員）
- タブレットは悪いイメージしかなかったので、授業で有効的に使われているのを初めて知って安心した。（村松委員）
- サキドリを取り入れ、先生方がどれだけ活用していくかが大切。先生方の負担を増やさずやってほしい。（河島委員）

以上のような意見が出され、これからも家庭や地域でできることをやっていくことが了承された。

1 3 1 学期のボランティア活動の実践

本康委員から、1学期のボランティア活動について報告された。

1 4 その他報告事項等

学校・地域連携課磯部志保主幹より、「委員の皆さんが職員からの説明を熱心に聴いていた。職員と一緒に協議会を行う学校は少ないので継続してほしい。」との話があった。

南陽協働センター袴田唯之さんより、「各学年の先生方から話を伺い、『聴く力』について学年に合わせた指導をしていることが分かった。今後もサキドリの研修を深め、今後に繋げていただけたらと思う。」との話があった。

司会から、次回会議は11月21（金）に会議室にて開催する旨の報告があった。また、参観会、校内運動会の日程等が伝えられ、委員に対して参加を呼び掛け、会を閉じた。